

北九州

3/15

2017 平成29年 No.1286

市政だより



市政・生活情報や申請窓口の問い合わせ
北九州市コールセンター
☎671-8181 年中無休
8時～21時

夜間・休日の病気やけがについて
☎522-9999

24時間子ども相談ホットライン
☎881-4152

消費生活センター
☎861-0999

編集・発行 北九州市広報室広報課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
☎582-2236

北九州市ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

トピックス「産学官が連携し学生の地元定着を促進	
『北九州・下関まなびとぴあ』など	234
「北九州 食の魅力まるごと発信」	4
すこやかハート北九州「知っていますか? 発達障害のこと」など	5
※最終ページは若松区の情報	

【人口】(平成29年2月1日現在)
95万4751人
男44万9739人／女50万5012人
世帯数 42万7297世帯

みんなでニコニコ楽しい食事 地域でつくる子ども居場所

特集 子ども食堂

本市では、共働きやひとり親家庭の増加に伴い、食事を子ども一人で取る「孤食」も増加していることから、平成28年9月に全国的にも事例の少ない公設の「子ども食堂」を市内2カ所に開設しました。今回は、子ども食堂の趣旨や活動内容、今後の取り組みについて特集します。

子ども食堂ってなんだ ろう？

本市では、仕事等の理由で保護者の帰宅が遅くなるなど、ニーズがある家庭の子どもが誰でも参加でき、保護者が帰宅するまでの間、多くの大人と触れ合いながら安心して過ごせる居場所づくりのため、子ども食堂を開設しています。

公設の子ども食堂は、「日明げんきもりもりハウス」(日明市民センター、小倉北区日明四丁目)と「尾倉っ子ホーム」(尾倉市民センター、八幡東区尾倉二丁目)の2カ所で、毎週1回実施しています。対象は、日明小学校区か皿倉小学校区の小・中学生です。市内には、今回開設した公設の子



どんなことをするの？

子ども食堂のほかにも、地域団体や飲食店などの皆さんが運営する子ども食堂が5カ所あり、それぞれが地域の特色に合わせた活動を行っています。

子どもたちは、放課後児童クラブが終了する17時過ぎに市民センターに來館します。スタッフに「おかえり」と出迎えられた後、学生ボランティアと一緒に宿題やドリルなどをします。

その間、調理スタッフやボランティアが、企業や地域の皆さんから提供された食材で調理を行います。市の管理栄養士から食材の点検や食中毒の防止、食物アレルギーへの対応など、衛生管理や栄養バランスについてアドバイスを受けながら、栄養豊富で

安心して、楽しく過ごせる居場所づくりを

子どもたちは、食事の時間が近づくボランティアと一緒に配膳の準備をします。配膳が終わるとみんなで「一緒にいただきます」のあいさつをし、楽しく食事をします。食事の後は、みんなで部屋の掃除や皿洗いをし、勉強の続きや工作など保護者が迎えに来るまで自由な時間を過ごします。

子ども食堂を利用している子どもの保護者からは、「進んで宿題をするようになった」「嫌いなものを食べるようになった。作り方を教えてほしい」といった声があり、子どもたちからは「大学生のお兄さんやお姉さんが話をしてくれたり、相談に乗ってくれるので嬉しい」と心のよりどころもなっています。

今後は、子ども食堂を運営していく中で得られる経験やノウハウを蓄積していきます。そして、子ども食堂に必要な体制づくりや食材の調達方法等について、子ども食堂を開設しようと考えている皆さんや既に運営している皆さんに情報提供するなど、

子ども食堂は多世代が関われるコミュニティーの場



NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
理事長 原田昌樹さん

私たちは、尾倉市民センターで「尾倉っ子ホーム」の運営を行っています。これまで生活困窮者の自立支援に携わる中で、食料支援にとどまるのではなく、地域を家族のようにしたいと思っていました。子ども食堂は、地域が抱えている子育てや安全・安心の問題などを解消していく重要な場です。

当初、週1回の実施では少ないと思っていましたが、今は回数ではなく継続的な関わりが最も大切と思うようになりました。子どもとスタッフ、保護者とスタッフの間の壁が徐々になくなっていると実感し、コミュニティーの力を改めて思い知らされました。食材・人材・資金の全てにおいて継続できるモデルを私たちがしっかり作ることによって、小学校区に一つは子ども食堂ができてほしいです。

きめ細やかなサポートを行っています。

併せて、平成29年度からは子ども食堂に興味がある人なら誰でも気軽に参加できる「子ども食堂ネットワーク会議」を立ち上げ、子ども食堂に関するさまざまな意見交換や助成金・寄付の情報提供、衛生管理の研修会の開催など、子ども食堂の活動を支援していくことにしています。

これらの取り組みを通じて、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。

《寄付金・食材を募集しています》

運営のための寄付金や食材の提供については、事前にお問い合わせください。食材や飲料などの提供の場合は、消費期限が短い食材や開封後のものは受け取ることができませんので、ご了承ください。

